

国際奉仕委員会の今年度の事業 について



2023.3.6

国際奉仕委員会

吉川 恵



本日の報告内容

- ・ 2020～2021年度（一昨年度）
地区補助金を活用した国際支援活動
- 2022～2023年度（今年度）
2021～2022年度（昨年度）
広島中央RC独自の国際支援活動

2020～2021年度地区補助金を活用した事業

- ・2020年3月27日 地区補助金申請

プロジェクト名

ケニア国、ティカ市にあるNGOモヨ・チルドレン・センターへ、セキュリティーシステム、雨水溜め10Tonタンク、足ふみミシン、モーターバイク、自転車、マットレスの寄贈及び贈呈式・交流会



- ・2020年5月27日 地区財団委員会から採択の通知

申請時の寄贈内容6件に対し、2件が採択された

採択されたプロジェクト名

ケニア国、ティカ市にあるNGOモヨ・チルドレン・センターへ、
①セキュリティーシステム②雨水溜め10Tonタンクを寄贈する

Moyo children Centerとは

- 設立から今まで
- 1997年 | ケニア政府大統領府NGOビューローインターナショナルに登録申請
- 1999年 | ケニア政府より国際NGOとして「モヨ・ホーム」が正式に認可される
- 2000年 | ティカにて本格的に活動を開始
- 2001年 | 「モヨ・ホーム」から「モヨ・チルドレン・センター」に改名
- 2004年 | 「モヨ・チルドレン・センターを支える会」発足
- 2010年 | 「子どもたちの家（ニューホーム）」が完成
- 2018年 | ドラッグ・リハビリテーションセンター完成 日本政府JICAの支援とクラウドファンディングにより（有機農業を通して薬物依存から抜け出すための施設）

2009年8月1日Moyo訪問時の様子

吉川訪問



当時のMoyo children Center



現在のMoyoの活動

- ▶ 「子どもたちの家」（2010年完成）を運営



根室高校の支援の下「子どもたちの家」の近所にあるクイーン・オブ・ロザリー小学校で約40名の子どもたちの給食を提供しています。

Moyoの活動 2

▶ 学費支援

外部の高校生8名へ学資援助

ほかに身体障害者小学校の生徒3名・HIVエイズの子ども2名の学資支援

▶ リハビリテーションセンター（2018年開設）の運営

有機農業・自給自足を通じて薬物依存から抜け出すためのリハビリテーションを行う施設



採択された地区補助金の内容

クラブ名	広島中央ロータリークラブ	提出日2020年3月27日		
プロジェクト名	ケニア国、ティカ市にあるNGOモヨ・チルドレン・センターへ、セキュリティーシステム、雨水溜め10Tonタンクを寄贈する			
補助金申請額	¥280,000	地区補助金の対象となる項目①の総額の2/3以下 但し、14万円以上60万円以下（1万円未満切り捨て）		
予算項目 （「〇〇一式」や「諸経費」でなく、詳細を記載）		見積書 No	利害の対立 報告記号	支出予定金額（円）
1	セキュリティーシステム 一式	1	B	¥216,000
2	雨水溜め10Tonタンク 2台	2	B	¥216,000
地区補助金の対象となる項目の総額①				¥432,000

コロナ禍での実行にあたり地区財団へ相談

地区財団委員会への相談 7月29日

現在国外旅行が認められていない一方、寄贈先母体の施設等は継続されている
本プロジェクトについて、次のように実行したい

- 1 寄贈物品であるセキュリティーシステム、雨水溜め10Tonタンクについて、見積をもらっている業者へ発注し、現地設置施工を行う。
- 2 設置施工確認は寄贈先であるモヨ・チルドレンセンター責任者でおこなってもらったうえで、当クラブに書面及び写真にて報告してもらう。
- 3 設置施工確認完了後の寄贈式・交流会については、2021年2月末日までに、Web会議システムを利用して行うこととする。
- 4 コロナウイルス収束時に改めて現地での交流会を企画する。

実施方法について地区財団から返事

10月5日に地区財団から返事

- 1 日本人担当者がケニアに滞在すること
- 2 受注先の健全性 以前にも取引があったかどうか
- 3 資金の流れを明確に
- 4 設置施工の確認 Webや写真によること
- 5 Webによる贈呈式・交流会を行うこと
- 6 コロナウイルス終息後の計画をすること

セキュリティシステムの自主施工

- 1 セキュリティシステムは現地購入寄付対象外に
コロナ禍でケニアの治安が急激に悪化し、モヨの判断で独自施工
寄贈対象外となる

- 2 贈呈品は10Tonタンク2台 (見積を取り直し安価となる)

10Tonタンク価格	¥171,175	(予算 ¥216,000)
------------	----------	---------------

地区補助金	¥114,116	
-------	----------	--

クラブ負担金	¥57,059	
--------	---------	--

贈呈式・交流会開催

1 実施日

令和3年1月8日 13時00分～14時10分

2 実施施設名

住所 ケニア国 ティカ市

施設名 NGOモヨ・チルドレン・センター

3 プロジェクト概要

ケニア国 ティカ市にあるNGO モヨ・チルドレン・センターへ、雨水溜め
10Ton タンク2台の寄贈と交流会

4 参加者（会場&ZOOM参加）

広島中央ロータリークラブ会員

- ・ リーガロイヤルホテル広島 12階 ライラック 芥川会長含め 6名
- ・ Zoom参加者 2名

NGOモヨ・チルドレン・センター 17名

5 実施行事

- ・贈呈式 13時00分～13時25分
- ・交流会 13時25分～14時10分

贈呈式写真集

贈呈式開始



芥川会長から目録贈呈



松下主宰からお礼の言葉



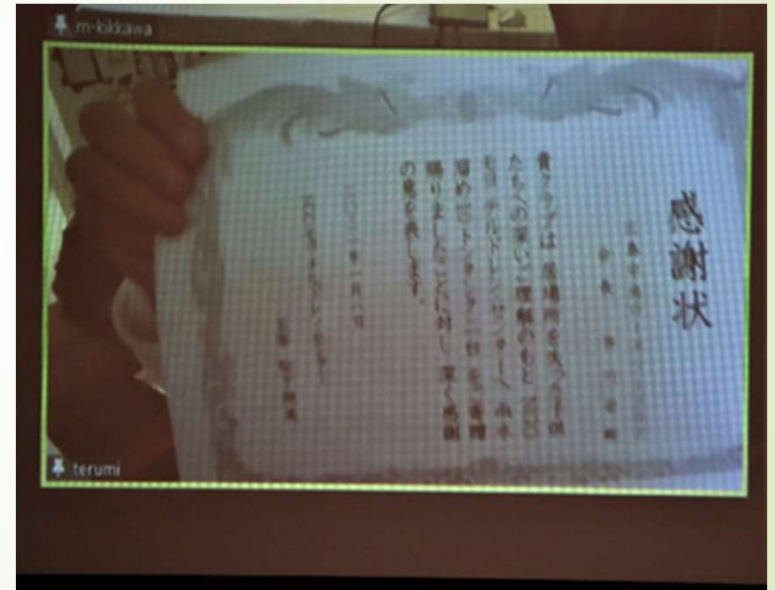
子供代表お礼の言葉



松下主宰



感謝状

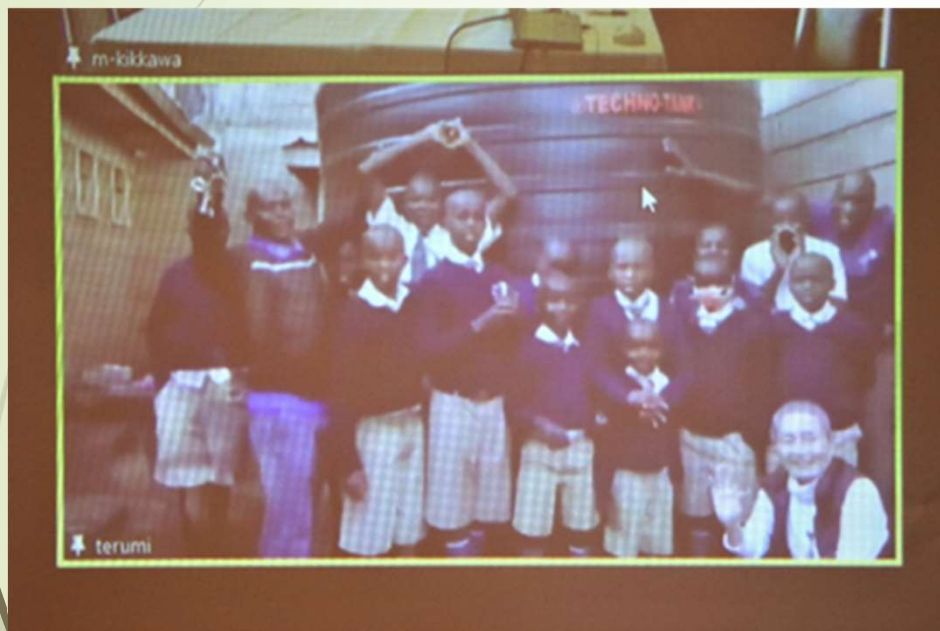


寄贈した雨水溜めタンクの前の子供たちと記念写真

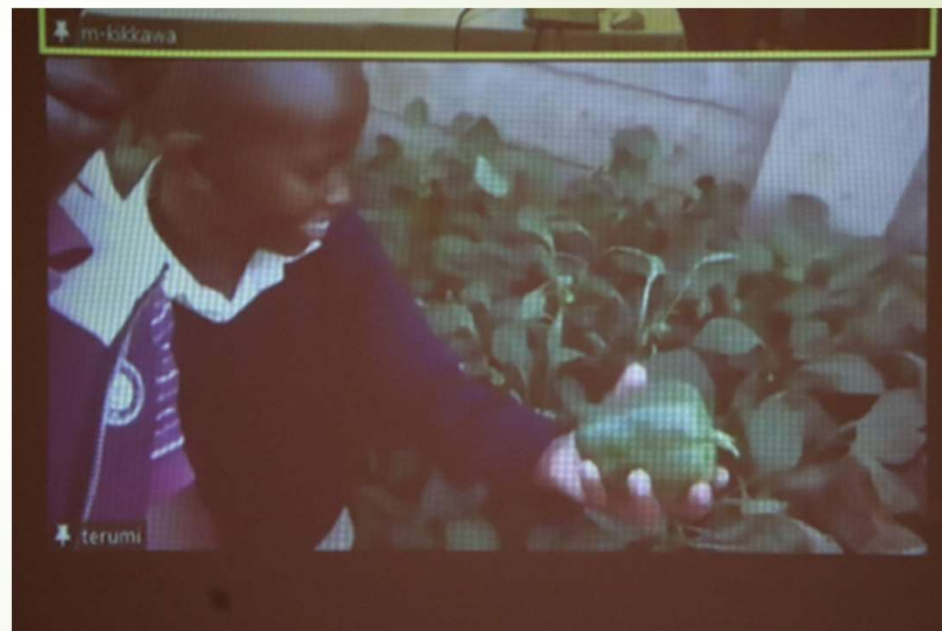


交流会写真集

寄贈したタンクの前で



施設内見学 農園で採れたピーマン



質問タイム



施設内案内



寄贈品 10 Tonタンク設置工事 写真集

設置工事 タンク設置台基礎工事 (Moyoスタッフによる工事) (左1号タンク用 右2号タンク用)



タンク設置台工事 写真集



1号タンク用



2号タンク用

設置した1号タンク



設置した2号タンク



雨どい設置1号タンク



雨どい設置2号タンク



寄付者の明記 1号タンク



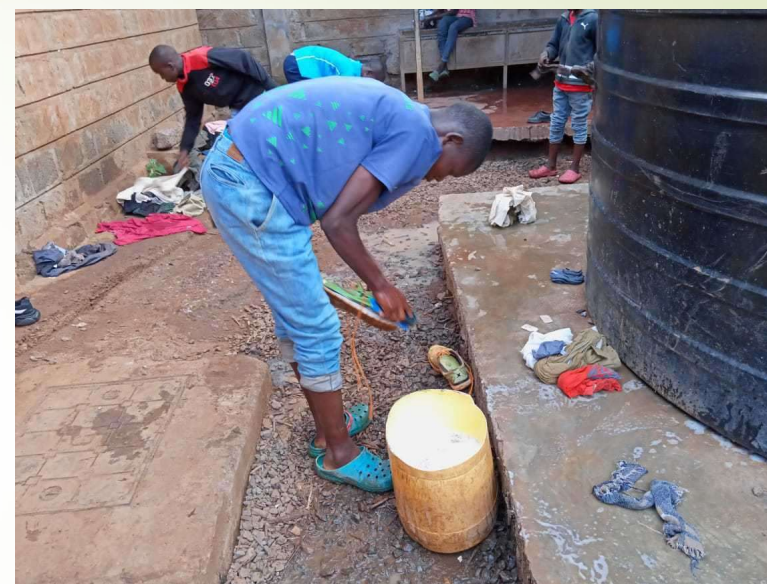
寄付者の明記 2号タンク



寄贈後のタンクの使用状況 2022年1月現在




タンクから採水の様子



洗濯の様子

毎日欠かせない水をタンクにて大量にまかなわせていただいております！

- ・水道代の節約に大きくつながる（水道代：約6,000円が約2,000~3,000円に）
雨季タンクが満タン時2~3週間分の水
- ・使用用途は、トイレ、掃除、洗濯、シャワー



2021～2022年度（昨年度）

国際奉仕委員会の今年度の事業計画

将来のグローバル補助金へ向けた活動として、昨年度交流があったケニアのNGOへわがクラブ独自の支援活動を行う。

予算 ￥300,000

モヨ・チルドレン・センターからの希望物品

	物品名	内訳	個数	単価	金額
1	マゴゴニタンク5000L (雨水タンク)	タンク	1	46,000	46,000
		ボーイズ	1	4,500	4,500
		セメン ト・砂	1	8,000	8,000
2	ミシン (教育研修用)		2	28,000	56,000
	合計				114,500

- ・ 購入業者へ送金しモヨ・チルドレンセンターへ納品
- ・ 寄贈品へ広島中央ロータリークラブからの寄贈であることを明記
- ・ 子供たちと寄贈品の写真をお送りいただく

タンクとミシンの近況について

佐藤南帆さま

2022年4月21日

◎タンクについて

ここ数日マゴゴニの農園では雨が続き、タンクがほほいっぱいになりました。飲料水として大切に使用させていただいております。

近くの川の水は雨が降ると混濁し、とてもじゃないですが飲料水としては使うことができませんので、タンクからきれいな水をいただけることとても感謝しております。

◎ミシンについて

ミシンの受け取りを完了し、本日1台のミシンをマゴゴニの農園に運びました。

車のサイズが小さく、もう一つのミシンはまだ運ぶことができていませんが、来週中には運び込めるようにいたします。

ミシンが到着してからしばらく「どうやって使うんだろう？」「次は僕がやってみる！」と子どもたちはミシンに興味津々でした。

薬物中毒によりリハビリテーションを行なっている子ども達にミシンの使い方を教え、彼らが洋裁にも興味を持ってくれるかどうか新しい刺激になりそうです。

布や糸も調達し、効果的に利用させていただきます。

5000Lタンクの様子




ミシンの様子



2022 - 23年度（今年度）希望物品


物品名	内訳	個数	単価	金額
防犯用高圧電線フェンスの修理	修理費	1		85,400
勉強机		15		45,600
合計				131,000

- ・ 購入業者へ送金しモヨ・チルドレンセンターへ納品
- ・ 寄贈品へ広島中央ロータリークラブからの寄贈であることを明記
- ・ 子供たちと寄贈品の写真をお送りいただく



寄贈品の説明

1. 防犯用高圧電線フェンスの修理
防犯用高圧電線フェンスの一部が現在故障している。
このフェンスの修理を行う費用。
2. 勉強机15個
ドラッグリハビリテーションセンターにおいてリハビリカリキュラムの中に読み書きの練習をする時間や算数の時間など「座学」の時間がある。この座学時に使用する勉強机として子ども用の勉強机15個購入する費用。



皆様のご承諾とご支援をお願いいたします

モヨ・チルドレン・センターとの関係を維持してゆくことで、この活動が将来、ケニア国現地との**グローバル補助金**を活用した活動に成長できれば良いと考えています

突然の代表就任・葛藤の日々 代表 佐藤 南帆さまから


2022年2月モヨ・チルドレンセンター設立者の
松下 照美さん逝去
松下さんから代表を託された。


子ども達を取り巻く問題に直面し、生じた問題に対する解決策を考えると、自信を持って「こうしよう！」となかなか言えない自分に嫌気が刺すことも多々ありました。そして、不条理な現実には胸を痛めることも何度もありました。

センターの日々

対応の例

- ・母は重度のアルコール依存症、父は行方不明の子ども。育てられる保護者も帰る家もないのに「家に帰りたい」と子どもが泣きじゃくること
- ・モヨに暮らしている子どもの親戚が隠れて子どもに少しのお金を渡していて「一緒に暮らそう」と誘惑し、子どもがモヨから脱走。家庭訪問をしてみると、お酒の空き瓶がそこらじゅうに転がっていて、不衛生な布が一枚敷いてあるだけの場所で、教育は愚か、衣食住が守られる場所ではないものの、子どもは親戚と一緒に暮らしたいと希望すること
- ・「僕だけじゃなくて、貧しくて苦しんでいるお母さんを助けてほしい」と子どもから懇願されること
- ・スタッフの職務怠慢や許されない勤務態度が発覚し、解雇を決定したこと

- 
- ・モヨの子どもが、通っている高校で窃盗事件に加担していたことが発覚したこと
 - ・路上で保護し、更生施設に入居した薬物依存症の子どもが再び路上に逃げ出してしまったこと
 - ・将来の可能性を広げるために高校に通いたいと自ら希望し、学費支援を始めた子が、やる気をなくしてしまい、成績が著しく下がったこと
 - ・止まらない円安、物価の高騰により膨らむ年間予算
 - ・子どもは児童養護施設にいておくべきではない！というケニア政府の脱施設化の動き



終わりに

皆様のご協力を心から感謝いたします